

講義名	経済学入門(商学部)					授業形態	
担当教員	亀井 大樹	開講期・曜日・時間		後期 月曜日 1時限			
		単位数	2	履修開始年次	1年生	ナンバリング・コード	ECN100

主題と概要
現代の我々は「経済」なしには生活できません。例えばコンビニエンスストアでおにぎり1個を買うにしても、価格がつけられています。あたりまえのこともかもしれません。 では問題です。おにぎり1個の価格はどのように決まっているのでしょうか？この答えを導くために、皆さんが義務教育で習ったであろう中学校の公民教科書で該当箇所からキーワードを拾ってくと、「市場」「市場経済」「価格」「供給曲線」、これらのキーワードだけで説明できそうです。しかしそれだけでは不十分です。上のキーワードだけでは説明できない経済上の重要な概念もあります。たとえば一国の経済活動の規模をどのようにはかるのでしょうか？ 本講義では「経済」の基礎的な仕組みについて学びます。経済学には「ミクロ経済学」と「マクロ経済学」と大きく分かれますが、本講義の前半は「ミクロ経済学」、後半では「マクロ経済学」を取り上げます。

到達目標
【第1段階】 意欲・態度に関する目標 〈目標1〉 経済に関するニュースを毎日読する。 〈目標2〉 経済に関するニュース1つを取り上げる。 【第2段階】 知識に関する目標 〈目標3〉 中学公民レベルの概念を説明できるようになる。 〈目標4〉 高校公共・政治経済レベルの概念を説明できるようになる。 【第3段階】 表現に関する目標 〈目標5〉 ミクロ経済学とマクロ経済学の基礎的な概念を説明できるようにする。 〈目標6〉 ミクロ経済学とマクロ経済学の基礎的な概念を現実の経済現象と関連づけて指摘できるようにする。

提出課題
毎回課題と確認テストがあります。どちらともレスポンドで回答します。 【毎回課題】 ● 毎回の授業後にその日の授業内容を簡単な振り返りと感想・質問・不明点をレスポンドで回答します。 ● 詳細は初回授業で説明します。 【確認テスト】 ● テーマの切りのいいところで、授業中に数回確認テストを行います。 ※提出にはスマホ、タブレット、パソコン等の電子機器類を用います。電子機器類を持参してください。 ※提出期限が守れない場合は未提出扱いとなります。提出期限の延長はいかなる要望にも応じません。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法
【毎回課題】 ● レスポンドで提出したミニッツペーパーの感想、質問、不明点は翌週以降の授業で回答します（ただし回答数が多い場合には代表的な質問・不明点のみを取り上げ回答します）。 ※課題の回答はクラスの皆さんとシェアします。シェアを前提に回答してください。 ※詳細は初回授業で説明します。 【確認テスト】 ● 当日の授業中か翌週以降の授業で解説します。

評価の基準
【平常点】 20% ● 授業への参加度（受講態度）を毎回課題で評価します。 ● 授業受けずに課題を提出した場合はカンニング行為とし、平常点を0とします。 ● 出席や他の受講生の迷惑となるような行為は厳に処んでください。 ● 授業中に私語がない場合、授業協力点として、全員に＋αを付与することがあります。 【確認テスト】 20% ● テーマの切りのいいところで、授業中に数回確認テストを行います。 【学期末定期試験】 60% ● 試験期間中に学期末定期試験を行います。 ● 持ち込みは「可」、電子機器類は「厳禁不可」です。 ※ 学期末定期試験の受験だけで成績評価はしません。 ※ 成績評価は平常点、確認テスト、定期試験を中心に総合的に勘案して行います。 ※ 成績評価の方法は初回の授業で詳細な説明をします。必ず出席してください。 ※ 提出期限が守れない場合は未提出扱いとなります。提出期限の延長はいかなる要望にも応じません。

履修にあたっての注意・助言他
【受講のルール】 ● 服装（ガムも含む）は厳禁です（水分補給のための飲み物は認めます）。 ● 受講中のイヤホン着用は厳禁です（ただし聴覚等に障害がある場合は認めます）。 ● 他の受講生に迷惑がかかるので、講義中の私語は厳禁です（ただし討論を行う時はこの限りではありません）。 ● ミニッツペーパーで成績に与える影響があれば、受講から予告なしに退席場所を行うことがあります。 ● 逆に授業中に私語がない場合、授業協力点として、全員に＋αを付与することがあります。 ● 他の受講生に迷惑がかかるので、授業中に携帯電話やスマホの着信音やチャットー音を鳴らさないようにしてください。 ● スライトをスマホで静止画撮影するのは認めますが、その場合、マナーカメラ等のアプリを使用してください。 ● 動画撮影は認めません。 ● 障壁のある生徒がいれば申し出てください。 ● 体調不良で欠席した場合は医療機関の診断書等を提出してください。 ● 志引、公式試合、就職試験、教育実習等で欠席した場合には証明書を提出してください。

教科書					
・使用しない。					
参考図書					
・マンキュー入門経済学(第3版)。	W・グレゴリー・マンキュー	東洋経済新報社	3300	978449231521	
・ミクロ経済学の基礎。	小川光・家森信善	中央経済社	2200	978450217951	
・マクロ経済学の基礎(第2版)。	家森信善	中央経済社	2200	978450237131	

その他
【配布資料】 ● 本講義は授業時に適宜配布するか、必要に応じてRYUKA Portalのキャンバスクロスにアップします。 【参考文献】 ● 参考文献は授業時に適宜紹介しますが、全体のおとしての文献として中学校の公民、高校公共・政治経済の教科書をあげておきます。ただし改めて買いなす必要ありません。
授業計画

【第1回】オリエンテーション （予習内容）Webシラバスをよく読んで、講義に臨んで下さい（120分）。 （復習内容）成績評価、定期末試験について、配布プリントを読み返してください（120分）。 【第2回】本学で経済学をどう考えるか （予習内容）なぜ大学へ進学したのか、自分なりの動機をノートにまとめておく（120分）。 （復習内容）授業で紹介した経済学のキーワードを、ノートにまとめておく（120分）。 【第3回】経済学とはどのような学問なのか （予習内容）前回紹介した経済学のキーワードをつかって具体的な事例を考えて、講義に臨んでください（120分）。 （復習内容）配布プリントをつかって、授業の要点をまとめておく（120分）。 【第4回】経済学の基本理論―分業の利益を考えてみよう （予習内容）高校公民の教科書やネットをつかいながら、分業の利益について調べてノートにまとめて、講義に臨んでください（120分）。 （復習内容）授業でならった概念を、数字をかえても問題をとけるようにしておく（120分）。 ＜ミクロ経済学＞ 【第5回】消費者の行動から「需要」を調べてみよう （予習内容）日常の行動を振り返ってみて、どういったときにモノを買うのか、ノートにまとめて、講義に臨んでください（120分）。 （復習内容）配布プリントをつかいながら、価格以外の需要を決定する要因を調べて、ノートにまとめておく（120分）。 【第6回】生産者の行動から「供給」を調べてみよう （予習内容）日常の行動を振り返ってみて、どういったときに企業はモノを売ろうとするのか、ノートにまとめて、講義に臨んでください（120分）。 （復習内容）配布プリントをつかいながら、価格以外の供給を決定する要因を調べて、ノートにまとめておく（120分）。 【第7回】価格はどうように決まるのだろうか （予習内容）これまででならった配布プリントをつかいながら、消費者と生産者のそれぞれの思惑をノートにまとめておく（120分）。 （復習内容）授業でならった似たような概念をノートにまとめて整理しておく（120分）。 【第8回】市場は効率的なのか （予習内容）これまででならった配布プリントをつかいながら、消費者と生産者の行動をノートにまとめておく（120分）。 （復習内容）市場で紹介した概念を、図示できるようにしておく（120分）。 【第9回】市場にはさまざまな構造がある （予習内容）身のまわりのモノを、経済学的に分析してノートにまとめて、講義に臨んでください（120分） （復習内容）授業で紹介した市場構造を、ネットをつかいながら他の具体例を探して、ノートにまとめておく（120分）。 【第10回】市場は失敗する （予習内容）前回までに紹介した完全競争市場と不完全競争市場のちがいを、ノートに整理して、講義に臨んでください（120分）。 （復習内容）授業でならった似たような概念を、図示できるようにしておく（120分）。 【第11回】市場の失敗と内部性 （予習内容）前回までに紹介した概念を、ノートに整理して、講義に臨んでください（120分） （復習内容）授業でならった似たような概念を、区別して説明できるように、ノートにまとめておく（120分）。 ＜マクロ経済学＞ 【第12回】ミクロ経済学とマクロ経済学はどうちがうのか （予習内容）これまででならったミクロ経済学とは、どのような空間だったのか、ノートにまとめて講義に臨んでください（120分）。 （復習内容）ミクロ経済学とマクロ経済学のちがいを説明できるように、ノートにまとめておく（120分）。 【第13回】GDPとは （予習内容）高校公民の教科書やネットをつかいながら、GDPに関する記述をノートにまとめておく（120分）。 （復習内容）授業でならった似たような概念を、区別して説明できるように、ノートにまとめておく（120分）。 【第14回】名目GDPと実質GDPのちがいは （予習内容）GDPをつかいながら、日本のGDP、世界のGDPを調べて講義に臨んでください（120分）。 （復習内容）授業でならった似たような概念を、区別して説明できるように、ノートにまとめておく（120分）。 【第15回】全体をまとめ （予習内容）これまででならったプリントを揃えて、到達目標を一元化して、講義に臨んで下さい（120分）。 （復習内容）これまでで授業で紹介した重要点の説明できるように、ードにまとめておいてください（120分）。 【学期末定期試験】 ※授業の多くでクイズカード（レスポンド）をつかいます。 ※授業の多くでクイズカードについては、学生の理解状況にあわせて、変更・制変される場合があります。 ※なお授業テーマについては、学生の理解状況にあわせて、変更・制変される場合があります。
--

授業形態（アクティブ・ラーニング）			
	ア：PBL（課題解決型学習）		イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
	ウ：ディスカッション、ディベート		エ：グループワーク
	オ：プレゼンテーション		カ：実習、フィールドワーク
キ：その他（A・L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）			

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連
本講義を受講することで、「流通科学大学の学生が卒業時に共通して身につけておくべき資質・能力」のうち、「（2）知識を知恵に転換することができる、論理的思考力を持った人材」と「（3）創造力（新しい視点と豊かな発想）を持った人材」に寄与することができるようになる。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述
【ICT活用】 課題の回収はレスポンドで行います。スマホ、タブレット、パソコン等の電子機器類を持参してください。

実務経験の有無及び活用
なし。
備考
特になし。
